

品名コード	型式名
142-9400 型	RHC-410G
142-9401 型	RHC-610G

このたびはファンコンベクターをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときに役立ててください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 本文中のイラストは 142-9401 型です。

も く じ ページ

ご使用の前に	安全上の注意(必ずお守りください)……	1
	各部のなまえとはたらき	
	本体外観図……	9
	本体表示部・操作部……	10
	リモコン……	11
	使用前の準備	
	乾電池の入れかた……	12
	リモコンの取り扱いかた……	12
	竹炭/光触媒空気清浄フィルタの取り付け……	13
	風向調節……	13
現在時刻の設定……	14	
運転のしかた	風量自動運転……	15
	風量手動運転……	17
	マイナスイオン運転……	18
	速暖運転……	19
	タイマー運転……	20
上手に使ってね	本体表示部の明るさの切り換え……	23
	チャイルドロック……	24
	日常の点検・お手入れ……	25
故障かな？	シーズン前の準備……	28
	シーズン後のお手入れ……	29
	故障かな？と思ったら……	31
	仕 様……	32
保証書	保証・サービス……	33
	保証書……	巻末

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が考えられる場合を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が考えられる場合、および物的損害の発生が考えられる場合を示しています。
お願い	警告、注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

	接触禁止		電源プラグを抜くこと
	分解禁止		アースを接続すること
	水濡れ禁止		必ず行うこと
	ぬれ手禁止		一般的な警告・注意
	一般的な禁止		高温注意

警告(WARNING)

温水コンセントの設置・移設・再設置はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご依頼してください



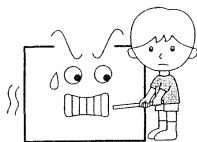
必ず行うこと

ご自分で設置をされ不備があると、感電・火災・温水漏れの原因になります。

⚠警告(WARNING)

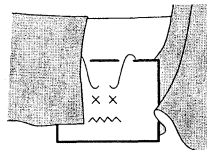
温風吹出口や吸込口に指や異物などを入れない

(ケガの原因)



内部でファンが高速回転しています。特にお子さまに注意してください。

温風吹出口や吸込口をふさがない



必ず行うこと

衣類、カーテンなどで温風吹出口や吸込口をふさがないでください。障害物があると正常な運転ができません。

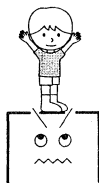
やけどに注意



高温注意

温風吹出口や前パネルは熱くなっています。特にお子様が直接手や肌を触れないように注意してください。

本体の上に乗ったり、物を乗せたりしない



禁止

転倒してケガをしたり、本体の変形や事故の原因になります。

長期間使用しない場合は…

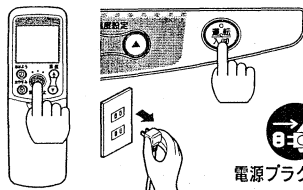


必ず行うこと

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。また、リモコンから乾電池を取り出してください。入れたままにすると乾電池から液が漏れる場合があります。漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗って流してください。なお、症状によっては、医師にご相談ください。

本体、エアフィルタの掃除をするときは…

(感電・ケガ・やけどの原因)



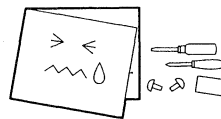
電源プラグを抜く

必ず運転を停止し、30分以上待ち、本体と温水が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。

ご使用の前に

⚠警告(WARNING)

分解・修理・改造の禁止



分解禁止

故障・破損したら使用しないでください。不完全な修理は危険です。

●修理はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

運転中や停止直後に温水プラグや温水ホースを抜かない

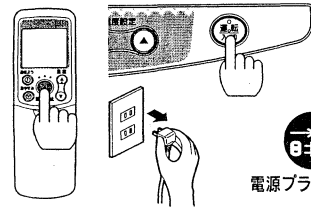


禁止

運転中や停止直後に温水プラグを温水コンセントから抜いたり、温水ホースを本体から抜いたりすると温水が漏れてやけどをしたり、家財等を汚すおそれがあります。

異常時使用禁止

運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。そのまま運転を続けると感電・火災の原因になります。



電源プラグを抜く

乾電池に注意

幼児が誤って乾電池を飲み込まないように注意してください。乾電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させ、医師に相談してください。健康を害する原因になります。またリモコンを処分するときは乾電池を抜いてください。



禁止

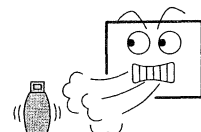
長時間、温風を肌にあてない



必ず行うこと

低温やけどを起こすおそれがありますので注意してください。特に体力のない病気の方・乳幼児・お年寄りが使用されるときは周囲の方が充分注意してください。

スプレー缶厳禁

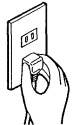


禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のアたる場所に置いたり、使用したりしないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。

⚠ 警告(WARNING)

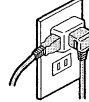
電源プラグを確実に差し込む
(感電・発熱・火災の原因)



必ず行うこと

電源プラグはホコリが付着していないか確認し、がたつきのないよう刃の根元まで確実に差し込んでください。

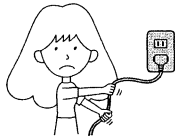
延長コードの使用、タコ足配線はしない
(感電・発熱・火災の原因)



禁止

途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

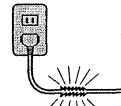
電源コードをひっぱらない
(発熱・火災の原因)



必ず行うこと

電源プラグを抜くときはプラグを持って行ってください。

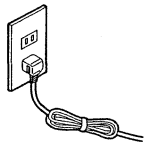
電源コードは破損させない、加工しない



禁止

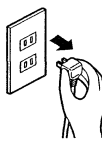
重いものを乗せたり、加熱したり、加工したり、ひっぱったりしないでください。傷んだまま使用すると感電・火災の原因になります。

電源コードを束ねたまま使用しない (感電・発熱・火災の原因)



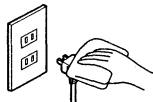
禁止

電源プラグを抜いて停止させない (感電・火災の原因)



禁止

電源プラグのお手入れをする



必ず行うこと

ときどきは電源プラグを抜き、ホコリおよび金属物を除去してください。ホコリがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

電源はAC100Vを使用する
(故障の原因)

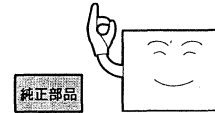


必ず行うこと

使用前に

⚠ 注意(CAUTION)

純正部品以外は使用しない



必ず行うこと

部品は必ず純正部品(指定された部品)を使用してください。故障や事故の原因になります。

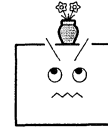
大阪ガス以外の製品と組み合わせて使用しない
(事故の原因)



禁止

必ず大阪ガスの熱源機、温水コンセント、温水プラグと組み合わせて使用してください。

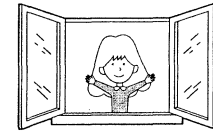
水洗いしたり、花瓶などの水の
入った容器をのせたりしない



水濡れ禁止

内部に水が入ると感電の原因になることがあります。

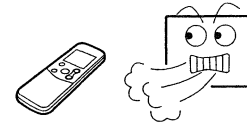
ときどき換気する
(酸欠事故の原因)



必ず行うこと

燃焼器具などをいっしょに使用する場合は、こまめに換気を行ってください。

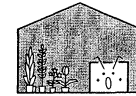
温風吹出口の周囲に注意



禁止

温風吹出口の周囲にリモコンを置かないでください。温風により故障の原因になります。

暖房以外の用途に使用しない
(品質低下の原因)



禁止

食品・精密機器・美術品の保存や動植物の生育・衣類乾燥など特殊な用途には使用しないでください。

本体内部の掃除



必ず行うこと

本体内部の掃除はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。市販されているエアコン用の内部洗浄剤は使用しないでください。プラスチック部分が破損したり、洗浄後の汚水が流れ出ます。

凍結に注意



必ず行うこと

凍結予防のため冬期は電源プラグを抜かないでください。凍結破損の原因になります。

⚠ 注意(CAUTION)

火気を近づけない



禁止

プラスチック部分には絶対に火気を近づけないでください。火災の原因になることがあります。

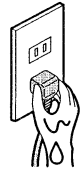
熱交換器に触らない



接触禁止

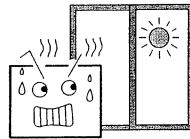
ケガの原因になります。

濡れた手で本体のスイッチ、電源プラグを触らない (感電の原因)



濡れ手禁止

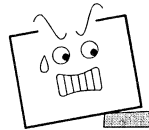
直射日光のあたる場所



禁止

直射日光があたって室温調節が正確に行われ
ないことがあります。
また、変色や故障の原因になります。

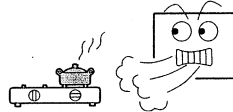
水平でない場所、不安定な場所



禁止

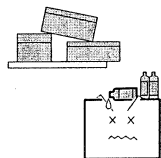
水平で丈夫な床の上で使用してください。

温風があたる場所に燃焼器具を置かない
(燃焼器具の不完全燃焼・火災の原因)



禁止

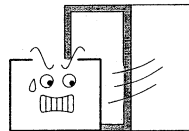
不安定な物をのせた棚などの下



禁止

物が落ちると危険です。

風があたる場所、部屋の
出入口、屋外



禁止

風があたって室温調節が正確に行われ
ないことがあります。また、人が出入りする際に本
体が転倒し、故障の原因になります。

ご使用の前に

⚠ 注意(CAUTION)

温風の循環を妨げない



禁止

温風吹出口の前に椅子やテーブルなどを置か
ないでください。温風の循環が妨げられ、効
果的な暖房が行えません。また、熱に弱い材
質やフローリング材の変形やそり、ひび割れ
等の不具合が生じるおそれがあります。

温風を直接あてない



禁止

木製品(テーブル・タンス・椅子など)、熱に
弱いビニール、樹脂製品に直接温風をあて
ないでください。変形やそり等の不具合が生
じるおそれがあります。

床面について



禁止

床(フローリング材)の上で長時間使用すると
変色したり、そり返ったり、ひび割れること
があります。温風のあたる場所は熱に強い
マットなどを敷いて使用してください。

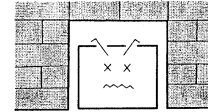
本体の周囲について



禁止

本体の周囲にガソリン、シンナーなど引火し
やすいものがある場所では使用しないでくだ
さい。火災になるおそれがあります。

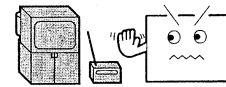
囲われる場所



禁止

過熱のおそれや室温制御が正常に作動しな
くなるおそれがあります。
壁組込み設置はしないでください。

電気器具の近く



禁止

テレビ、ラジオ、オーディオ等の近くで使
用しないでください。
雑音・誤動作の原因になることがあります。

温風吹出口のルーバーの
角度をむりに変えない



禁止

床やじゅうたん等の変形、変色、ひび割れ等
の原因となります。

保管時の注意

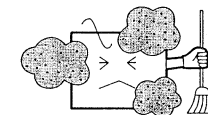


必ず行うこと

傾けたり、横倒しの状態で保管しないでくだ
さい。温水が漏れて家財等を汚すおそれあ
ります。

ホコリや湿気が多い場所

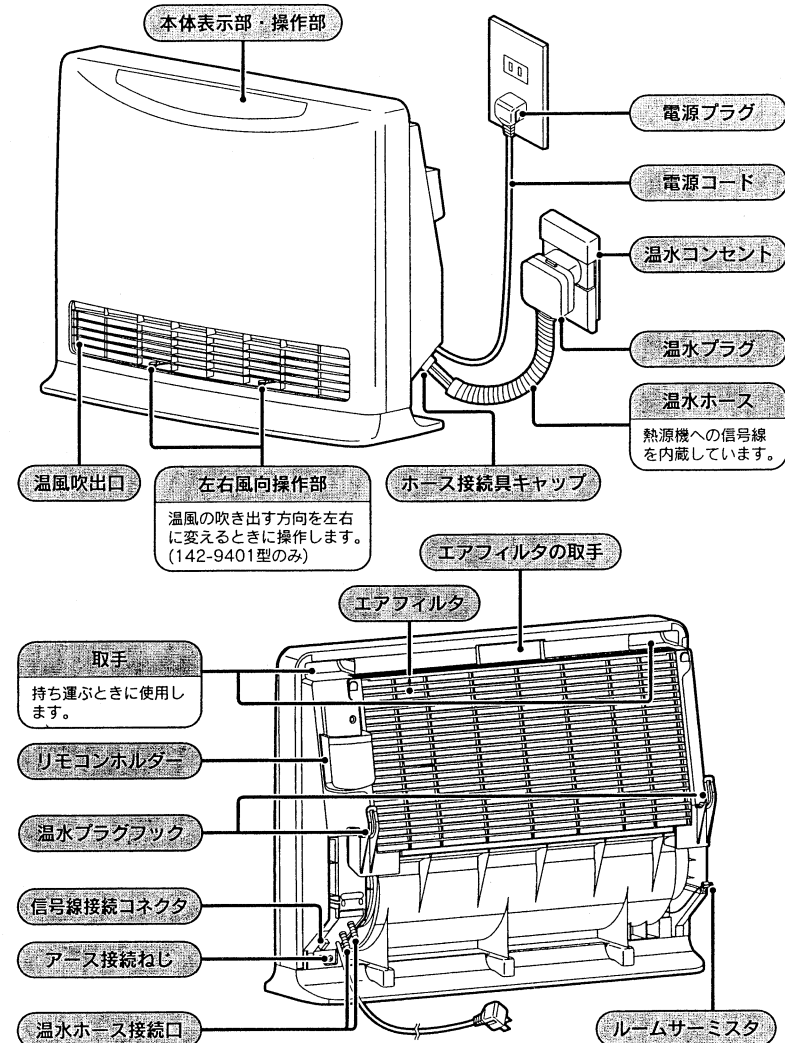
排気口、換気扇などの蒸気、油煙、チリ、湿気、
ホコリの排出される付近に設置しないでくださ
い。エアフィルタがつまりやすくなります。



禁止

各部のなまえとはたらき

本体外観図



※イラストは142-9401型です。

⚠注意(CAUTION)

ホース接続具キャップを
はずさない



禁止

ホース接続具キャップをはずさないでください。閉端接続子を保護しています。

信号線のコネクタを抜かない



禁止

信号線のコネクタを本体から抜かないでください。熱源機との通信ができなくなります。

お願い(NOTICE)

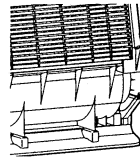
特殊な場所での使用について



必ず行うこと

温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、機械油の多い場所などで使用する場合は、腐食の原因になることがありますので、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

温水ホースをルームサーミスタに近づけない



ルームサーミスタ



必ず行うこと

温水ホースの中を流れる温水の影響を受けて室温調節が正確に行われないことがあります。

電気カーペットなどの上に
置かない



必ず行うこと

電気カーペットなどの熱の影響を受けて、室温調節が正確に行われないことがあります。

落雷のおそれがあるときの処置



必ず行うこと

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

アースを接続する



アースをする

近くにアース端子がある場合はアースを接続することをおすすめします。

一般家庭用として
使用する

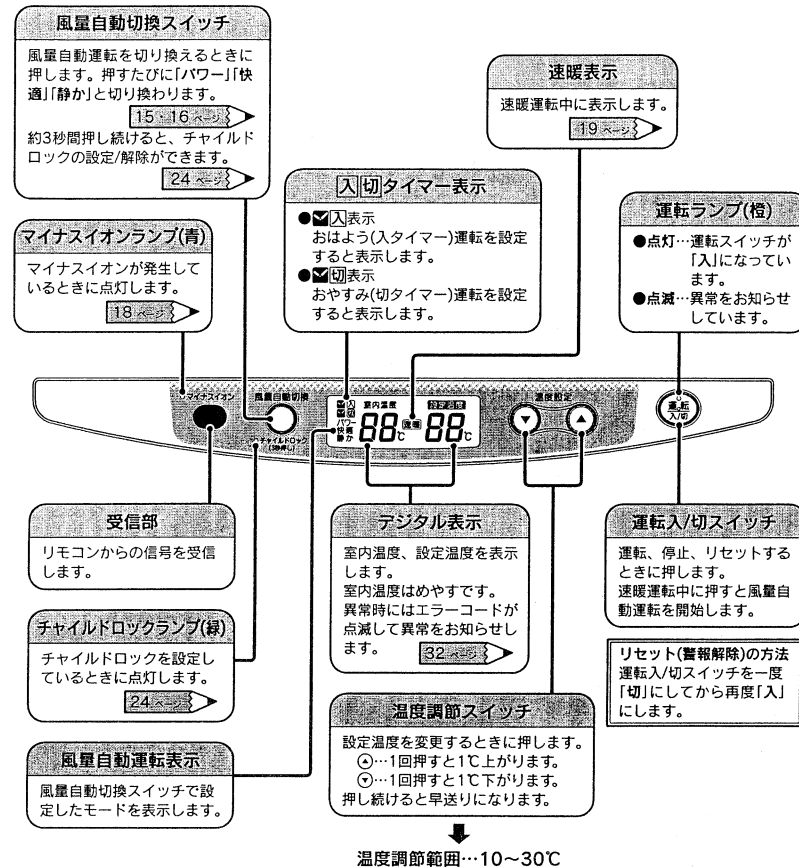


必ず行うこと

業務用に使用すると、寿命が短くなる原因となります。

使用前に

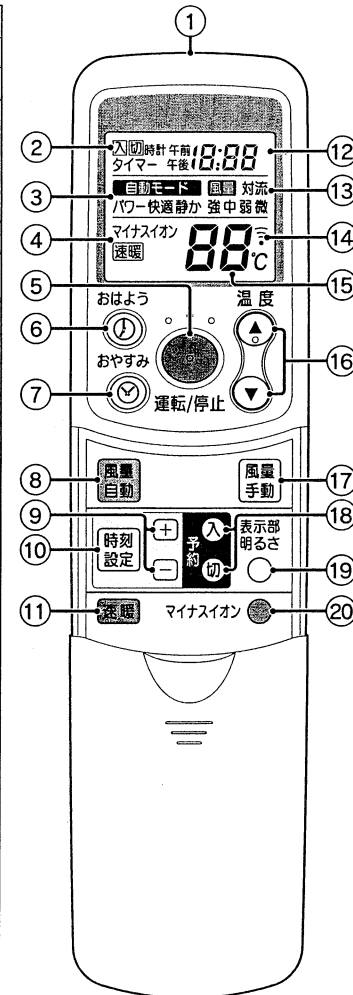
本体表示部・操作部



使用前に

リモコン

①送信部
本体の受信部に信号を送ります。
②入切タイマー表示
●入タイマー表示 おはよう(入タイマー)運転を設定すると表示します。 ●切タイマー表示 おやすみ(切タイマー)運転を設定すると表示します。
③風量自動モード表示
風量自動スイッチで設定した運転を表示します。
④運転表示
運転状態を表示します。
⑤運転/停止スイッチ
運転、停止、リセットするときに押します。
リセット(警報解除)の方法 運転/停止スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。
⑥おはようスイッチ
おはよう(入タイマー)運転を設定するときに押します。
⑦おやすみスイッチ
おやすみ(切タイマー)運転を設定するときに押します。
⑧風量自動スイッチ
風量自動運転を切り換えるときに押します。押すたびに「パワー」「快適」「静か」と切り換わります。
⑨時刻調節スイッチ
現在時刻、タイマー時刻を調節するときに押します。 ⊕…時刻をすすめます。 ⊖…時刻を戻します。 押し続けると10分単位で変わります。
⑩時刻設定スイッチ
現在時刻、タイマー時刻を設定するときに押します。
⑪速暖スイッチ
速暖運転をするときに押します。



⑫時刻表示
現在時刻、タイマー時刻を表示します。
⑬風量表示
風量手動スイッチで設定した風量を表示します。
⑭送信表示
リモコンから本体へ信号を送信するときに点灯します。
⑮温度表示
設定温度を表示します。
⑯温度調節スイッチ
設定温度を変更するときに押します。温度調節範囲は10～30℃です。 ①…1回押すと1℃上がります。 ②…1回押すと1℃下がります。 押し続けると早送りになります。
⑰風量手動スイッチ
風量を切り換えるときに押します。押すたびに「強」「中」「弱」「微」「対流」と切り換わります。マイナスイオン運転を単独で運転する場合は「対流」はありません。
⑱入スイッチ、切スイッチ
「おはよう(入タイマー)運転」、「おやすみ(切タイマー)運転」を設定するときに押します。
⑲表示部明るさスイッチ
本体の表示部の明るさを切り換えます。
⑳マイナスイオンスイッチ
マイナスイオンを発生させるときに押します。

- 表示部は操作時に最もよく見えるように設定されていますので、水平方向から見ると文字が少し薄く見えます。
- 表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

- ふたを開けた状態です。表示は説明のためのもので、実際とは異なります。スイッチを押すと該当するものだけを表示し、その後、すべての設定内容を表示します。

使用前の準備

乾電池の入れかた

1 ふたをはずす

ふたを手前に引き、止まったところでふたを持ち上げるとはずれます。

2 乾電池を入れる

表示に従って⊕⊖を正しく入れてください。

3 ふたを取り付ける

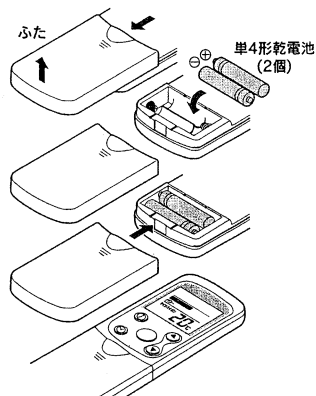
レールにそって差し込んでください。

4 表示部を確認する

運転/停止スイッチを押して表示が出ることを確認してください。

- 付属の乾電池はモニター用です。リモコンの表示がうすくなったり、信号を受けつけなくなったりした場合は、乾電池を入れ換えてください。
- 乾電池は2個とも同じ種類の新しいものを入れてください。
- 乾電池を交換した直後は「マイナスイオン」、「パワー」、「20℃」の設定になります。現在時刻、タイマー時刻は解除されますので、設定し直してください。
- 長期間使用しない場合は、乾電池をリモコンから取り出してください。

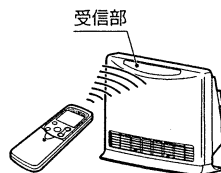
●乾電池交換後、正常に動作しないときは乾電池をはずして、30秒以上経過してから入れるか、乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。



使用前の前に

リモコンの取り扱いかた

- リモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作してください。
- 受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
- リモコンに衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。また直射日光が当たる場所、ストーブなどの近くには置かないでください。
- 電子式点灯方式(ラビッドスタート方式)の蛍光灯やインバータ方式の蛍光灯、コードレス電話のある部屋では信号を受けつけない場合があります。その場合はリモコンを受信部に近づけて操作してください。
- 本体のリモコンホルダーに入れたまま、操作しないでください。受信しないことがあります。



使用前の準備

竹炭/光触媒空気清浄フィルタの取り付け

- この本体には竹炭/光触媒空気清浄フィルタが取り付けられます。(1枚付属)

1 エアフィルタをはずす

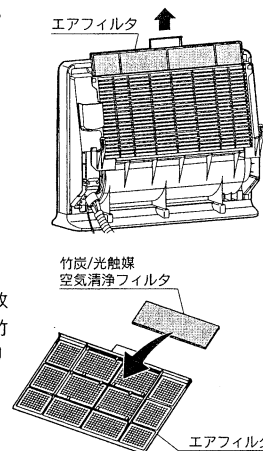
エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。

2 竹炭/光触媒空気清浄フィルタを取り付ける

エアフィルタの枠に竹炭/光触媒空気清浄フィルタを取り付けます。

142-9401型は竹炭/光触媒空気清浄フィルタを2枚取り付けることができます。別売の交換用フィルタ(竹炭/光触媒空気清浄フィルタ)を販売店、またはもよりの大阪ガスでお買い上げください。

3 エアフィルタを取り付ける

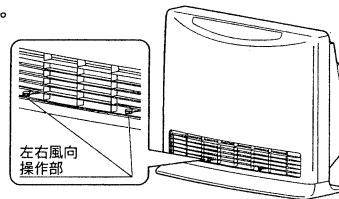


風向調節 (142-9401型のみ)

- 風向調節を行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、左右風向操作部が冷えていることを確認して行ってください。
- 左右風向操作部を手で動かして調節してください。

⚠注意

- 温風吹出口の奥に指や異物を入れないでください。内部でファンが高速回転しています。特にお子さまに注意してください。



🔧お願い

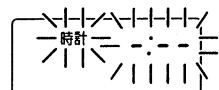
- 左右風向操作部は必ず手で調節してください。棒などを使用すると誤って温風吹出口に入りケガの原因となったり、送風ファンを破損したりするおそれがあります。
- 乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがいる部屋で使用する場合は、周囲の方が常に注意して風向や室温を調節してください。

現在時刻の設定

操作方法

1 時刻設定を開始する

時刻設定ボタンを1回押します。

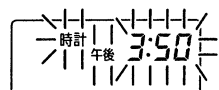


2 時刻を合わせる

＋／－で時刻を合わせます。

押し続けると10分単位で変わります。

例 午後3:50に合わせる場合
3:49から3:50にセットした時点で
時計がスタートします。

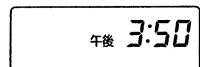


3 時刻設定を終了する

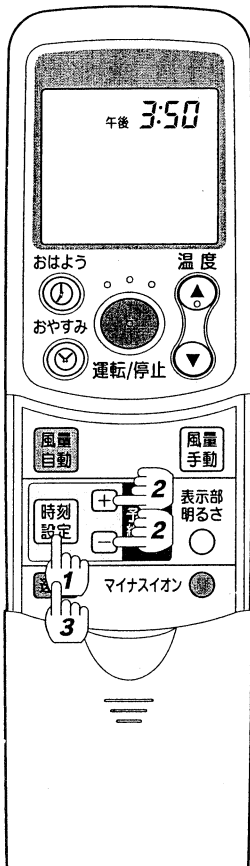
時刻設定ボタンを3回押します。

現在時刻が表示され、現在時刻の設定が完了します。

時刻設定ボタンを3回押さなくても10秒後に同じように設定が完了します。



ご使用の前に



お知らせ

- 現在時刻を設定した後は、停止中でも現在時刻を表示します。
- 現在時刻を設定しないと、おはよう(入タイマー)運転・おやすみ(切タイマー)運転はできません。

風量自動運転

●使用する部屋の広さに合わせて3種類の風量自動モードが選択できます。

リモコンで操作する場合

操作方法

1 運転を開始する

運転/停止スイッチを押します。
本体操作部の運転ランプ(橙)と表示部が点灯します。



2 風量を調節する

風量調節ボタンを押します。

風量調節ボタンを押すごとに風量自動

モードは「パワー→快適→静か」を繰り返します。



3 設定温度を調節する

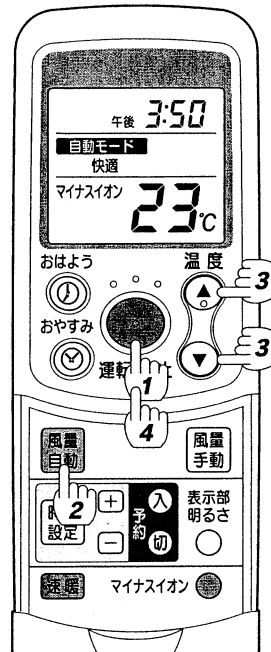
▲／▼でご希望の設定温度に調節してください。10～30℃の範囲で調節できます。



停止

4 運転を停止する

運転/停止スイッチを押します。本体操作部の運転ランプ(橙)と表示部が消灯します。次回からは運転/停止スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。



お知らせ

- 室温調節は風量を自動的に切り換えて行います。最大風量は「パワー：強」、「快適：中」、「静か：弱」となります。
- 春先や秋口、また狭い部屋で使用了場合には、風量が「微」運転でも室温が設定温度より高くなってしまうことがあります。この場合は室温が設定温度より約2℃上昇すると送風機は自動的に停止し、対流モードになります。
- 対流モードとは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れて対流させることです。
- 風量自動運転と風量手動運転は同時にはできません。
- 本体が運転中でも温水が一定温度以下になった場合は、一時的に送風を停止することがあります。

風量自動モード	風量自動範囲
パワー	強・中・弱・微・対流
快適	中・弱・微・対流
静か	弱・微・対流

本体で操作する場合



操作方法

1 運転を開始する

運転入/切スイッチを押します。
運転ランプ(橙)と表示部が点灯します。

2 風量を調節する

風量自動モードを押します。
風量自動モードを押すごとに風量自動モードは「パワー→快適→静か」を繰り返します。

3 設定温度を調節する

温度設定ボタンでご希望の設定温度に調節してください。10～30℃の範囲で調節できます。

停止

4 運転を停止する

運転入/切スイッチを押します。
運転ランプ(橙)と表示部が点灯します。
次回からは運転入/切スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。

お知らせ

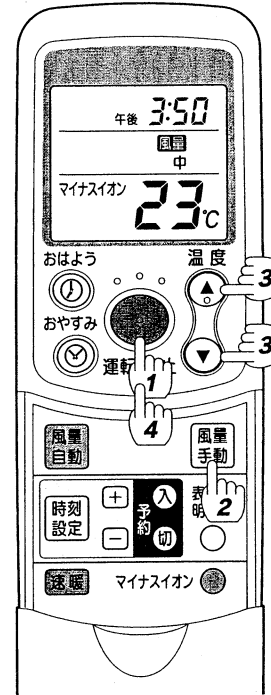
- 室温調節は風量を自動的に切り換えて行います。
最大風量は「パワー：強」、「快適：中」、「静か：弱」となります。

風量自動モード	風量自動範囲
パワー	強・中・弱・微・対流
快適	中・弱・微・対流
静か	弱・微・対流

- 春先や秋口、また狭い部屋で使用した場合には、風量が「微」運転でも室温が設定温度より高くなってしまうことがあります。この場合は室温が設定温度より約2℃上昇すると送風機は自動的に停止し、対流モードになります。
- 対流モードとは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
- 本体が運転中でも温水が一定温度以下になった場合は、一時的に送風を停止することがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると「マイナスイオン」、「パワー」、「20℃」の設定になります。

運転のしかた

- お好みの風量が手動で選べます。



操作方法

1 運転を開始する

運転/停止スイッチを押します。
本体操作部の運転ランプ(橙)と表示部が点灯します。



2 風量を調節する

風量自動モードを押します。
風量自動モードを押すごとに風量は「強→中→弱→微→対流」を繰り返します。



3 設定温度を調節する

温度設定ボタンでご希望の設定温度に調節してください。10～30℃の範囲で調節できます。
対流モードに設定した場合は温度調節はできません。また、設定温度表示は消灯します。



停止

4 運転を停止する

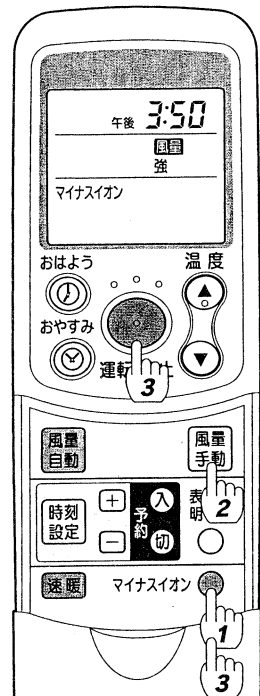
運転/停止スイッチを押します。
本体操作部の運転ランプ(橙)と表示部が点灯します。
次回からは運転/停止スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。

お知らせ

- 対流モードとは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
- 室温が設定温度より約2℃上昇すると送風機は自動的に停止し、対流モードになります。
- 室温は本体表示部に表示しています。暖めすぎに注意してください。
- 対流モードに設定した場合はマイナスイオンは発生しません。また、本体表示部の設定温度は消灯します。
- 風量自動運転と風量手動運転は同時にはできません。
- 本体が運転中でも温水が一定温度以下になった場合は、一時的に送風を停止することがあります。

マイナスイオン運転

- マイナスイオンを発生させたり、停止させたりするときに使用します。



お知らせ

- マイナスイオン運転は風量手動運転の対流、速暖運転と同時にできません。
- 本体操作部のマイナスイオンランプとリモコンのマイナスイオン表示は風量自動運転中の対流モード、おはよう(入タイマー)運転の予約中でマイナスイオンの発生が中断している間も点灯します。

運転をしている場合 (風量自動運転、風量手動運転中に)
マイナスイオン運転を行う場合です。

操作方法

1 運転を開始する

マイナスイオン ● を押します。
本体操作部のマイナスイオンランプ(青)が点灯します。
他の運転と同時にマイナスイオン運転を行います。

停止

3 運転を停止する

マイナスイオン運転のみを停止する場合はマイナスイオン ● を押します。本体操作部のマイナスイオンランプ(青)が消灯します。
運転を同時に停止する場合は運転/停止スイッチを押します。(次回からは運転をすると同時にマイナスイオン運転を行います。)本体操作部の運転ランプ(橙)とマイナスイオンランプ(青)が消灯します。

運転をしていない場合 (マイナスイオン運転を) 単独で行う場合です。

操作方法

1 運転を開始する

マイナスイオン ● を押します。
本体操作部のマイナスイオンランプ(青)が点灯します。

2 風量を調節する

風量 ● を押します。
風量 ● を押すごとに風量は「強→中→弱→微」を繰り返します。

停止

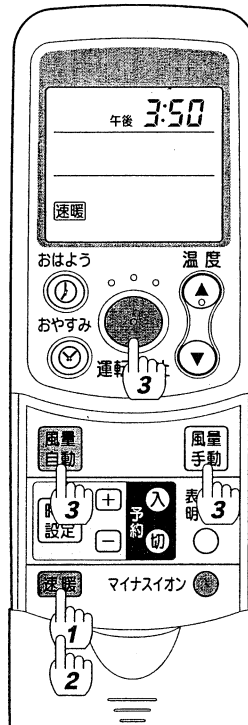
3 運転を停止する

マイナスイオン ● を押します。
本体操作部の運転ランプ(橙)とマイナスイオンランプ(青)が消灯します。

運転のしかた

速暖運転

- すぐに温風が吹き出すように温水を保温循環させます。温風吹き出しまでの時間が短縮されます。
- ワンタッチで速暖運転ができます。
- しばらく部屋を離れるときには運転停止ではなく、速暖運転にしておくと部屋に戻って運転を再開するときに早く温風が出ます。



お知らせ

- この本体は熱源機で暖められた温水を循環させ、温風に変えて吹き出す間接暖房方式です。
- 速暖運転を行っていない場合は運転開始から温水が一定温度になり、温風を吹き出し始めるまで数分かかります。
(温風を吹き出し始める時間は使用条件や熱源機の種類によって異なります。)
- 速暖運転のタイマー予約はできません。
- 速暖運転は運転開始から約1時間経過すると自動的に終了しますが、リモコン表示部の速暖表示は消灯しませんので、消したい場合は速暖 ● を押してください。

操作方法

1 運転を開始する

速暖 ● を押します。
本体操作部の運転ランプ(橙)と速暖表示が点灯します。

停止

2 運転を停止する

速暖 ● を押します。
本体操作部の運転ランプ(橙)と速暖表示が消灯します。
また、速暖運転を開始してから約1時間経過すると自動的に停止します。

暖房運転に切り換える場合

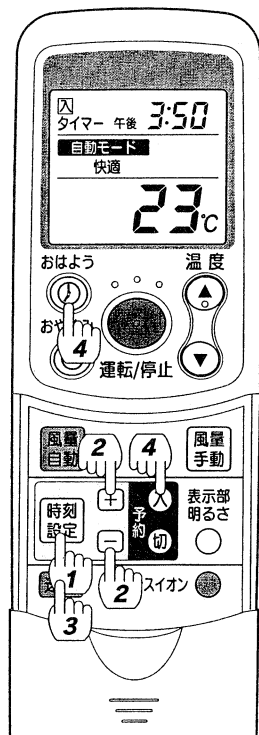
3 暖房運転に切り換える

運転/停止スイッチ、速暖 ● または速暖 ● を押します。

タイマー運転

おはよう(入タイマー)運転

- おめざめ前やご帰宅時などに合わせてご使用ください。
 - タイマー時刻を予約する前に現在時刻が合っていることを確認してください。
- 14 ページ
- 現在時刻から 24 時間以内のタイマー予約ができます。
 - タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは②、または④のいずれかを押すだけで同じ時刻に運転を開始します。



おはよう(入タイマー)運転の特徴

- 室温が7℃未満の場合
設定時刻の約 30 分前に運転を開始します。
- 室温が7℃以上の場合
設定時刻の約 15 分前に運転を開始します。

時刻の設定

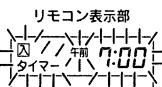
1 入タイマー時刻設定を開始する

②を2回押します。

2 時刻を設定する

③④でタイマー時刻を設定します。

10 分単位で変わります。
押し続けると早送りになります。
例 午前 7:00 に開始する場合



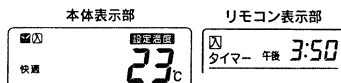
3 終了する

- ②を2回押します。
入タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。
- ③を押さなくても約 10 秒後には時刻設定は完了し、同じように現在時刻を表示します。

予 約

4 ②または④を押す

入タイマー時刻を約 1 秒間表示した後、現在時刻、「タイマー」を表示し予約が完了します。本体表示部の④表示が点灯し、待機状態になります。(対流モード中に入タイマー予約をした場合は設定温度を表示しません。)



予約の取り消し

②または④を押す

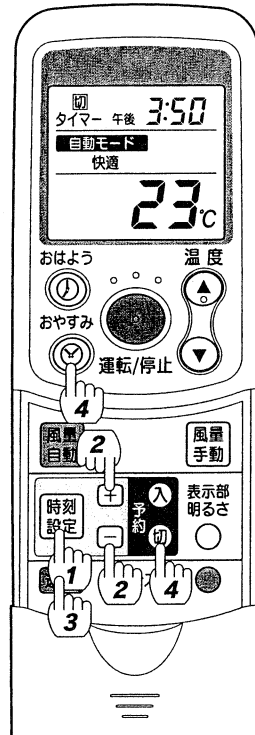
本体表示部の④表示が消灯し、運転を開始します。運転を停止する場合は運転/停止スイッチを押してください。

運転のしかた

タイマー運転

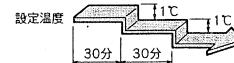
おやすみ(切タイマー)運転

- おやすみになるときなどにご使用ください。
 - タイマー時刻を予約する前に現在時刻が合っていることを確認してください。
- 14 ページ
- 現在時刻から 24 時間以内のタイマー予約ができます。
 - タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは②、または④のいずれかを押すだけで同じ時刻に運転を停止します。



おやすみ(切タイマー)運転の特徴

運転開始後、約 30 分で設定温度が1℃下がり、更に約 30 分後 1℃下がります。本体表示部とリモコン表示部の設定温度は変わりません。



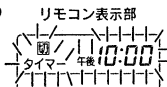
時刻の設定

1 切タイマー時刻設定を開始する

③を3回押します。

2 時刻を設定する

③④でタイマー時刻を設定します。
10 分単位で変わります。
押し続けると早送りになります。
例 午後 10:00 に停止する場合



3 終了する

- ③を1回押します。
切タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。
- ③を押さなくても約 10 秒後には時刻設定は完了し、同じように現在時刻を表示します。

予 約

4 ②または④を押す

切タイマー時刻を約 1 秒間表示した後、現在時刻、「タイマー」を表示し予約が完了します。本体表示部の④表示が点灯します。



予約の取り消し

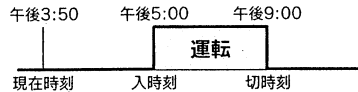
②または④を押す

本体表示部の④表示が消灯し、運転を継続します。運転を停止する場合は運転/停止スイッチを押してください。

おはよう(入タイマー)運転と おやすみ(切タイマー)運転の組み合わせ

おはよう(入タイマー)運転とおやすみ(切タイマー)運転は、現在時刻に対して設定時刻の早い方から先に動作します。

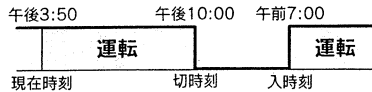
午後5:00に運転を開始し、午後9:00に停止する場合



1 午後5:00におはよう(入タイマー)運転を予約する

2 午後9:00におやすみ(切タイマー)運転を予約する

午後10:00に停止し、午前7:00に運転を開始する場合



1 午後10:00におやすみ(切タイマー)運転を予約する

2 午前7:00におはよう(入タイマー)運転を予約する

お知らせ

- おはよう(入タイマー)運転とおやすみ(切タイマー)運転の操作はどちらを先に行っても同じ設定になります。
- おはよう(入タイマー)運転の開始時刻は室内の温度によって異なります。◀20ページ▶

タイマー設定時刻の変更

タイマー予約中は設定時刻の変更ができませんので、一度タイマー予約を取り消した後に、再度おはよう(入タイマー)運転、またはおやすみ(切タイマー)運転の設定を行ってください。

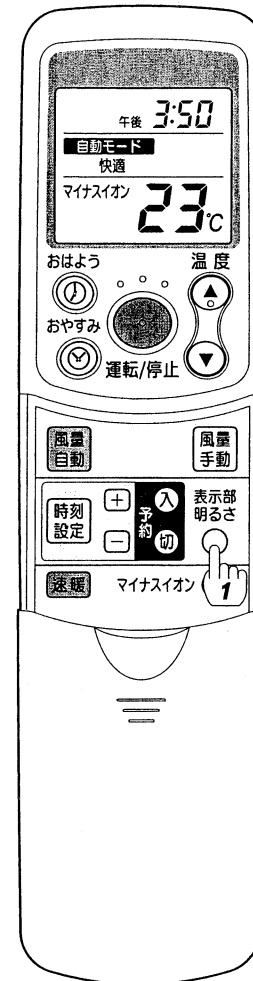
操作方法

1 明るさを変更する

- 表示部明るさのアイコンを押します。
- 表示部明るさのアイコンを押すごとに本体表示部と操作部の各ランプの明るさが4段階に切り換わります。

お知らせ

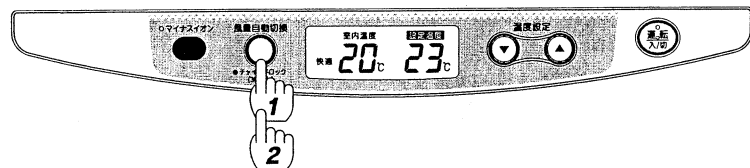
- 本体表示部の明るさを変更すると、次回運転時と同じ明るさになります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると明るさは工場出荷時の状態になります。



運転のしかた

チャイルドロック

- チャイルドロックを設定することによって、お子様などのいたずらによる運転開始、温度調節を防止します。



操作方法

1 風量自動切替

チャイルドロックランプ(緑)が点灯します。

解除

2 風量自動切替

チャイルドロックランプ(緑)が消灯します。

運転のしかた

お知らせ

- 運転中・停止中に関係なくチャイルドロックを設定することができます。
- 運転中にチャイルドロックを設定した場合は、本体の運転入/切スイッチまたはリモコンの運転/停止スイッチを押して運転を停止することしかできません。
- 停止中にチャイルドロックを設定すると、すべての操作ができません。チャイルドロックを解除してから操作してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電するとチャイルドロックは解除されます。
- 風量自動切替スイッチを押し続けると「設定・解除」を繰り返します。

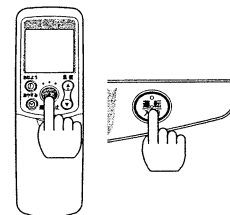
日常の点検・お手入れ

お手入れの前に

1 運転を停止する

⚠注意

- 運転している場合は運転を停止してください。停止しないと内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になります。



2 電源プラグを抜く

⚠注意

- プラグを持って抜いてください。電源コードをひっぱって抜くと、断線して発熱・火災の原因になります。



3 次のものは使用しない

- ガソリン、ベンジン、シンナー、みがき粉、殺虫剤など
塗装がはがれたり、傷の原因となります。
- 40℃以上のお湯
変色・変形の原因となります。



お手入れのしかた

⚠注意

- 点検・手入れは必ず運転停止後、本体が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 本体に直接水をかけて掃除をしないでください。感電や故障の原因になります。
- エアフィルタは、水気を充分ふきとって陰干ししてください。
水気が残ったまま取り付けると感電や故障の原因になります。
- 異常がある場合はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタ(半年に 1 回) エアフィルタ(1 週間に 1 回・シーズン始め)

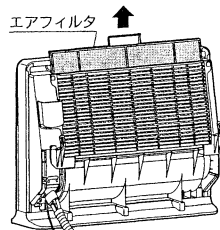
交換用フィルタ
竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタ

1 エアフィルタをはずす

エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。

警告

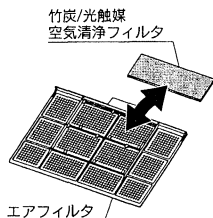
- エアフィルタの取りはずし、取り付けの際は金属部に触らないでください。ケガの原因になります。



2 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタをはずす

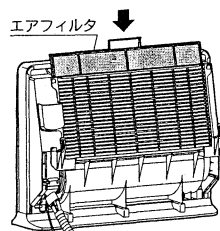
3 掃除する

- エアフィルタ
掃除機でホコリを吸い取るか、水洗いをします。水洗いをする場合は竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタをはずしてから行ってください。水洗いの後は日陰でよく乾かします。
- 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタ
【お知らせ】に従って掃除や天日干しを行ってください。



4 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタを取り付ける

エアフィルタの枠に竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタを取り付けます。



5 エアフィルタを取り付ける

お知らせ

- エアフィルタにホコリがたまると風量が減り、能力が低下します。
- エアフィルタはシーズン始めには必ず掃除し、使用期間中は 1 週間に 1 回をめやすに掃除してください。
- 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタにホコリがたまった場合は掃除機で吸い取るか交換してください。
- 交換した竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタは不燃ゴミとして廃棄してください。
- 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタは半年に一度、約 6 時間天日干しするだけで約 5 年間使用することができます。中性洗剤の浸け置き洗いが 20 回まで可能です。
- 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタを取り付けた場合、竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタにホコリがたまると、空気清浄効果が得られなかったり、臭いが発生したり、風量が少なくなり暖房能力が低下します。
- 竹炭 / 光触媒空気清浄フィルタの保管は高温多湿を避け、開封後はなるべく早く使用してください。開封したまま放置すると空気清浄効果が低下します。

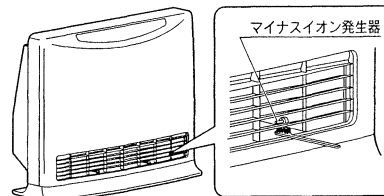
上手に使ってね

日常の点検・お手入れ

マイナスイオン発生器(1 カ月に 1 回・シーズン始め)

警告

- お手入れは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
通電したままでマイナスイオン発生器を触ると感電のおそれがあります。



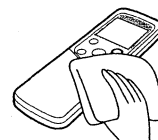
マイナスイオン発生器内部の金属針の先端を歯ブラシ等で 3～4 回軽くこすってください。綿棒などの毛羽立つものは使用しないでください。

お知らせ

- ホコリがたまるとマイナスイオンの発生が減り、電磁音(ジー)が出ることがあります。
- シーズン始めには必ず掃除し、使用期間中は 1 カ月に 1 回をめやすに清掃してください。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、やわらかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー等は使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。



本体

- 水や化学ぞうきんなどは使わず、やわらかい布でからぶきしてください。
- 汚れがひどい場合はぬるま湯や水に中性洗剤を入れ、布に含ませてふくと効果的です。そのときは布をよくしぼってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー等は使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。
- 中性洗剤はよくふきとってください。変色・ひび割れの原因になります。

点検のおすすめ

- 数シーズンご使用になりますと本体の内部が汚れ、能力低下の原因になることがあります。日常のお手入れとは別に点検を受けることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
- 本体の内部の清掃は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。お客様自身で行うと樹脂部品の破損、電気部品の故障などの原因になることがあります。

シーズン前の準備

1 エアフィルタの掃除・確認

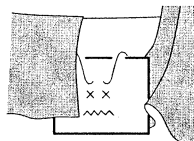
エアフィルタを取り付けずに運転するとホコリなどが内部に入り、汚れ、故障の原因となります。必ず取り付けてください。

◀ 26 ページ



2 吸込口・温風吹出口をふさがない

ふさがれていると正常な運転ができず、故障の原因になります。

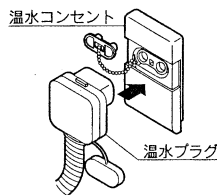


3 温水プラグを温水コンセントにカチッと音がするまで差し込む

温水プラグに温水が付着していないことを確認してください。

警告

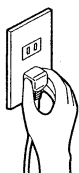
- 温水プラグはプラスチック、ゴムなどの材料を使用しています。絶対に蹴ったり、たたいたりしないでください。強い力などが加わると破損し温水漏れの原因になります。また、装着はまっすぐ確実に行ってください。



4 本体の電源プラグをコンセントに差し込む

警告

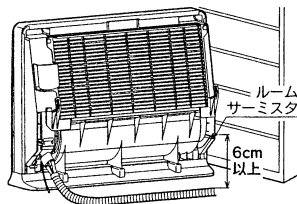
- 電源プラグのホコリを掃除して、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。専用のブレーカをご使用の場合はブレーカも入れてください。



上手に使ってね

お願い

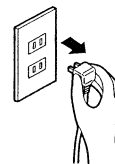
- 本体を壁際に設置する場合は、温水ホースがつぶれないように注意してください。
- 温水ホースを本体の背面に引き回す場合は、温水ホースとルームサーミスタは6cm以上離してください。温水ホースの熱により、ルームサーミスタが温められて室温の調節ができなくなります。
- ルームサーミスタが壁やカーテンなどにあたらないよう隙間を空けてください。



シーズン後のお手入れ

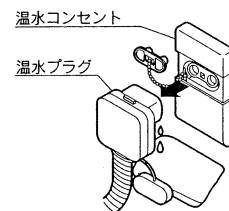
- シーズン終了後や長期間使用しない場合は、次の要領で手入れを行い、保管してください。熱源機と接続しているすべての本体の運転を停止し、30分以上待ち、本体と温水が冷めてから行ってください。

1 電源プラグを抜く



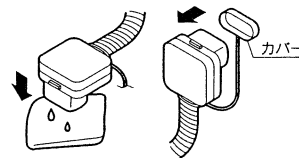
2 温水プラグを温水コンセントから抜く

温水プラグから少量の温水が落ちますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



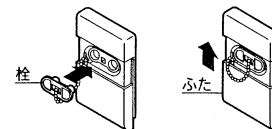
3 温水プラグにカバーをする

少量の温水がプラグ部に付着していますので、温水プラグをふいてから、カバーを取り付けてください。



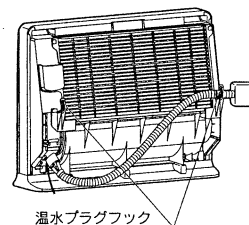
4 温水コンセントに栓をしてふたを閉める

少量の温水がコンセント部に付着していますので、コンセント部をふいてから栓をし、ふたを閉めてください。



5 温水プラグのホースを温水プラグフックにひっかける

温水漏れによる故障を防ぎます。



故障かな？と思ったら

サービス(修理)を依頼される前に

●次のような場合は故障ではありません。サービス(修理)を依頼される前にもう一度確認してください。それでも直らないときや原因がわからないときはお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

症 状	原 因 ・ 処 置
運転しない	●停電していませんか。 ●屋内ブレーカーが「OFF」になっていませんか。 ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●チャイルドロックが設定されていませんか。操作部の風量自動切換スイッチを約3秒間押し解除してください。
ファンが回らず温風が出ない	●温水コンセントがはずれていませんか。 ●風量自動運転中对流モードに切り変わり、送風が停止していませんか。室温設定が適切か確認してください。 ●リモコンで風量手動運転の対流モードに設定していませんか。 ●速暖運転に設定していませんか。 ●運転開始時、温水温度が低いとすぐに温風が出ません。温水温度が上がるまでしばらくお待ちください。 ●熱源機は動いていますか。熱源機の取扱説明書に従って処置してください。 ●熱源機1台に対して複数の本体を同時に運転させると送風が停止することがありますので、部屋を早く暖める場合は本体を交互に運転してください。
ファンが回らず温風が出ない 室内温度の表示が実際と異なる	●本体に風や直射日光があたったり、温水ホースとルームサーミスタが近い位置にあたりすると正確な室内温度が感知できません。置く場所の周囲には注意してください。 - また、温水ホースとルームサーミスタは6cm以上離してください。
温風が出ない	●マイナスイオン運転を単独で行っていませんか。
暖房能力が低下した	●エアフィルタが目詰まりしていませんか。エアフィルタを掃除してください。 ●温水ホースがつぶれていませんか。つぶれないように注意してください。
運転開始後や停止後に「ピシッ」「パキッ」という音がする	●運転中に本体から音がすることがあります。これは温度変化により、樹脂部品がわずかに伸縮するため発生する音です。(故障ではありません。)
運転中や運転モード切替時に「カチッ」「ウーン」「コトコト」という音がする	●リレーの動作、熱動弁の開閉、ファンの速度変更時に発生する音です。(故障ではありません。)
マイナスイオン運転中に「ジー」という音がする	●マイナスイオン発生器にホコリがたまることと異音が発生することがあります。マイナスイオン発生器のお手入れをしてください。
水の流れる音がする	●運転中や運転停止直後は本体内に温水が流れています。(故障ではありません。) ●室温が低いときに凍結予防機能が働き、本体内に温水が流れる場合があります。
リモコン操作を受けつけない リモコンの表示がうすい 送信時に表示がうすくなる リモコンの表示が出ない	●乾電池が切れかけていませんか。乾電池を交換してください。 ●乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。

上手に使ってね

6 お手入れをする

エアフィルタ、リモコン等を掃除してください。

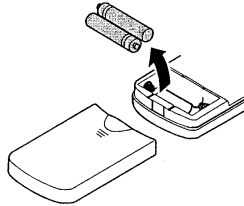
26 ページ

エアフィルタを取りはずした場合は、元通りに取り付けてください。

7 リモコンの乾電池を取り出す

液漏れによる故障を防ぎます。

12 ページ



8 保管する

本体を段ボールケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

絶対に傾けたり、横倒ししたりして保管しないでください。

温水が漏れて家財等を汚すおそれがあります。

部品交換が必要になったときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼してください

- 部品は必ず純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 修理が必要なときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼してください。

エラーコード一覧表

●本体の表示部にエラーコードを表示して、故障・異常をお知らせします。
エラー表示を繰返す場合はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

エラーコード	内 容	確 認 ・ 処 置
15	熱交サーミスタ高温検知	30分以上待ち、温水が冷めてからリセットしてください。
16	ルームサーミスタ高温検知	室温が低下してからリセットしてください。温水ホースとルームサーミスタが近い場合は、6cm以上離してください。
31	ルームサーミスタ異常	お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
32	熱交サーミスタ異常	
62	ファンモータ異常	
70	操作部基板異常	
73	電源周波数異常 制御基板異常	

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転/停止スイッチまたは本体の運転入/切スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

仕 様

品 名 コー ド	142-9400型	142-9401型
型 式 名	RHC-410G	RHC-610G
定 格 暖 房 能 力	3.5kW(3,000kcal/h)(80℃ 2.0L/min)	5.2kW(4,470kcal/h)(80℃ 2.0L/min)
温 水 損 失 水 頭	11.9kPa(2.0L/min)	12.7kPa(2.0L/min)
P T 相 当 長	3.1m(7A)	3.3m(7A)
最 高 使 用 圧 力	98kPa(1kgf/cm ²)	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	単相 100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	25/30W(50/60Hz)	38/43W(50/60Hz)
騒 音	42/42dB(A)(50/60Hz)	43/44dB(A)(50/60Hz)
外 形 寸 法	高さ475mm 幅445mm 奥行き200mm	高さ475mm 幅605mm 奥行き200mm
質 量	7.5kg	9.5kg
配 管 接 続	φ 8mm 用温水ホース	
付 属 部 品	リモコン、単4形乾電池(2個)、竹炭/光触媒空気清浄フィルタ ホース接続具キャップ、E-CON接続コネクタ 取扱説明書(保証書付)、工事説明書	

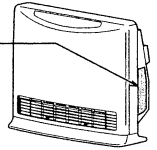
●騒音値はJISの試験方法による当社無騒室における測定値です。
実際の使用では室内での反響により仕様値より大きくなる場合があります。

サービスを依頼されるときは

サービス(修理)を依頼される前に31・32ページの「故障かな?」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……………ファンコンベクター(移動型)
2. 品名コード……………142-9400型 142-9401型
型 式 名……………RHC-410G RHC-610G
3. お買い上げ年月日……保証書をご覧ください
4. 故障の状況(現象または異常表示の内容)……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号、道順(付近の目印など)
6. 訪問ご希望日



保証・修理について

この機器には「保証書」がついています

- 必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されている保証登録カード、または領収書等を確認してください。保証書の内容をよくお読みになったあとは大切に保管しておいてください。
- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より2年間は無料で修理いたします。お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は修理(有償)いたします。
- 家庭用以外の特殊な使用方法での不具合につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケールによる故障の場合は保証期間内でも有料となります。
- 大阪ガス以外の製品と組み合わせて使用しないでください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です

- その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、修理(有料)いたします。なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。